

塾生がつくる義塾での学生生活



多くの新入生にとって高校までは「与えられた」学生生活だったかもしれない。しかし慶應義塾では、学びはもちろん、課外活動やイベントなど塾生自らが学生生活をつくりだしている。教員と塾生へのインタビューを通して「塾生がつくる学生生活」を概観してみよう。



課外活動への参加で

学部を超えた出会いと友情を

学生総合センター長／理工学部 教授

ちだのりたか

千田憲孝

新入生の皆さんは大学生活をどのよう
うに感じていますか？ 新しい環境に
新鮮な喜びを感じているでしょうか？
それとも高校生活との違いに戸惑われ
ているでしょうか？

高校生と大学生の大きな違いは、ま
ず自分が学ぶ授業を自分で選択できる
ことです。また親元を離れて一人暮ら
しをする学生にとっては、毎日の生活
も自分で責任を持つこととなります。
一言で言えば大学生は「大人」として
扱われるのです。

担任教員やご家族のもとで学ん
だ高校生にとってこれは大きな変化で
あり、戸惑いや不安があつて当然です。
そしてそんなときに頼りになるのが
“先輩”の存在。新入生のうちはなか
なか学部の先輩との接点は持てないも

の。しかし課外活動なら、学部を超えて、自分と異なるバックグラウンドを持つさまざまな個性を持った先輩や仲間と出会うことができます。こうした出会いは大学生活になじむ手助けになるだけではなく、大学生活全体を豊かにしています。また、世界各国から来た留学生やOB・OGとも積極的に交流してみてください。コミュニケーション能力が磨かれ、学生生活の可能性はますます広がっていくでしょう。多様な学生が集う総合大学の利点をぜひ生かしてほしいと思います。

「独立自尊」の精神による学び

現在、慶應義塾には学術・スポーツ・文化にわたる約460の公認学生団体があります。これらの活動に参加することは慶應義塾を深く知り、交流を広げ、一人ひとりの人間形成に資することになるはずです。近年、日本の大学



生の課外活動への参加率が低下しているようですが、慶應義塾では今も80%近くの塾生が課外活動に参加しており、活動への満足度も高くなっています。

慶應義塾の課外活動の大きな特色は「独立自尊」の精神によって運営されていることでしょう。活動においては塾生の自由度を最大限に認めています。それはすなわち、塾生がそれぞれの活動において大人としての責任を持つことを意味しています。その責任を受け止め、仲間とともに課外活動に取り組むことで責任ある大人としての生き方を学ぶことができると思います。

最後に新入生の皆さんに大学生に忍び寄るさまざまな危険への注意を喚起しておきます。飲酒や薬物、カルト宗教団体勧誘など、少しの油断や隙からトラブルに巻き込まれる危険性があります。学生総合センターでは「大学生活における責任と危機管理」というeラーニング科目を通じてそうしたリスクへの啓発を図っています。また慶應義塾には「社中協力」という言葉があり、塾生と教職員が同じ地平にいる仲間という意識が伝統的に育まれてきました。何か困ったことがあれば、遠慮なく私たち教職員にご相談ください。

オリエンテーション実行委員会

委員長／法学部法律学科3年
うめやまあきひろ

梅山晃弘君

オリエンテーションで

サークル選びを

オリエンテーション実行委員会は慶應義塾大学におけるオリエンテーション期間（2019年度は4月3～5日）の企画運営を行っています。塾生自治のもと、オリエンテーション期間に慶應義塾大学に存在する多くの団体の間で問題が起きないように、説明会教室の割り振りや配布・掲示するピラの大きさなどのルールを定めて管理しています。また、入学式にて新入生の皆さんに配布したオリエンテーションパンフレットの企画・作成を行っています。ぜひパンフレットを活用し、良い団体選びをしていただきたいと思います。



全塾ゼミナール委員会の活動

◎他学部入ゼミと業界講演会

全塾ゼミナール委員会は、研究会活動の充実と研究会間の交流の促進を目的として、さまざまな活動を運営しています。2018年度委員の廣畑秀叔君に主な活動内容について聞きました。

——まずは「他学部入ゼミ」の活動について聞かせてください。

廣畑 入学した学部で学んでいくうちに視野が広がり、本当に学びたいことや直接指導を受けたい教員を見つけた

ものの、それを実現するには他学部のゼミに入らなければと、悩むケースがあります。そんな塾生をサポートするために、必要な手続きや入ゼミ試験などの説明会を開き、他学部生を受け入れてくれるのかどうかを含め情報提供をしています。

——他学部入ゼミを考える塾生にはありがたい活動ですね。次に「業界講演会」について聞かせてください。

廣畑 よくある企業説明会ではなく、就職活動の前に、どのような「業界」があるのかを広く知ってもらうためのものです。1997年に始まり、2018年で22回目を数えました。まず



全塾ゼミナール委員会
法学部政治学科4年
廣畑秀叔君
ひろはたしゅうじ

塾生対象にアンケートを実施し、どんな業界を知りたいか、さらに業界を代表してどの企業の話を知りたいかを集計して、講演を依頼します。毎年10月12月にかけて行い、2018年はコンサルティング、総合商社、航空業界など、計26回開催しました。「業界」の魅力を語ってもらう点が特徴で、就職活動中の3年生だけでなく、幅広い層の参加が急増しています。

——他大学の就職関連イベントはほとんど大学の主催ですが、慶應義塾の「業界講演会」は純粋に学生の主催運営。かなり珍しいことです。

廣畑 各界で活躍されている大勢の塾員（卒業生）の協力があつてこそイベント。業界第一線での塾員の存在感を強く感じています。





◎全塾杯ソフトボール大会

——毎年6月に開催するソフトボール大会の目的について聞かせてください。

廣畑 学部の垣根を越えての、ゼミの親睦と交流です。経済学部・商学部・法学部法律学科・法学部政治学科では、各ゼミナール委員会の主催でゼミ対抗ソフトボール大会が行われています。

その上位2チームと大会のない文学部有志などの選抜チームを加えての合計9チームで全塾杯を争奪します。1日だけの開催ですが、学部内で勝ち上がってきたチームは、どこもチームワークが良くなかなかの強豪ぞろい。極めてレベルの高い戦いが繰り広げられます。最後はトロフィー授与とともに、互いの健闘をたたえ合ったり、集合写真を撮ったりして、他学部の知人、友人の輪が広がります。

——最後に、全塾ゼミナール委員として活動の感想を聞かせてください。



多摩川緑地野球場にて

廣畑 私の場合は、法学部政治学科ゼミナール委員会の一員として対外活動を担当し、さらに人の役に立ちたいと全塾ゼミナール委員会に参加しました。いろいろな苦労もありますが、業界講演会では、仲間と協力して企業の方と交渉するなど、イベントをつくる楽しさを感じています。

共済部

塾生に下宿やアルバイトを紹介。ぜひ利用してみよう

共済部は福利厚生機関に位置づけられる学生団体です。授業期間中は塾生に向けてのアルバイト紹介を、春休み期間中は新入生に向けての下宿紹介を行っています。アルバイト紹介では、日吉キャンパスの部屋に掲示する形式で企業からの求人情報や個人からの家庭教師依頼などを塾生に紹介しています。下宿紹介では、藤山記念館を会場として、不動産会社や個人の大家さんからの物件情報を掲示し、来場された新入生、在校生に紹介しています。地方出身で現在一人暮らしをしている部員も多く在籍しているため、春から一人暮らしを始める新入生の相談に乗ることもあります。少しでも塾生の力になれたらという思いのもと、日々活動しています。



下宿紹介会場の藤山記念館にて

三田祭実行委員会の活動

◎三田祭



日本最大規模の学園祭「三田祭」

毎年11月に三田キャンパスで開催される三田祭は、来場者数・参加団体数ともに日本最大規模の学園祭です。第60回を迎えた昨年の三田祭終了後に三田祭実行委員会（三田実）委員長に就任した馬場敦士君は「次回は次の10年を見据えた新しいスタートとなる三田



三田祭実行委員長
経済学部4年
馬場敦士君

祭にしたい」と抱負を語ります。

三田実は、毎年三田祭終了後、委員長、総務局長、財務局長の新三役が決まって代替わりします。12月には「一般企画局」「本部企画局」「広報宣伝局」「渉外局」の4局へメンバーが割り振られ、春休み頃から局ごとのミーティングによって親睦を深めながら、その年の企画立案がスタートします。

活動が活発化するのは夏合宿が行われる8月頃から。10月以降は企画をカタチにするための申請作業、外部との交渉、宣伝やパンフレット作成など約200名の実行委員がフル回転します。



三田祭当日の三田実本部

三田実から新入生に向けて

4月の新歓シーズンに三田実では1年生を募集します。入会条件は「4年間続けること」。原則として1学年50名（男女25名ずつ）と定められているので面談による選考を行っています。

「面談」と言ってもフランクな雰囲気で行うので自然体で臨んでほしい」とのこと。

入会した1年生は、当面は「見習い」として先輩のサポートを経験し、三田祭終了後に局を選ぶこととなります。

「4年間何かに打ち込みたいと思っている新入生にぜひ入会してほしい」と話すのは総務局長の貫洞秀一君。「約400団体が出展し、約20万人の来場者のある三田祭だけに、やりがいと達成感は保証します！」

2人は「今年度は200名の実行委員全員で挑む三田祭にしたい」と力強く語ってくれました。



三田祭実行委員会総務局長
商学部4年
かんどうしゅういち
貫洞秀一君



四谷祭



矢上祭



SFC 七夕祭



SFC 秋祭



芝共薬祭

◎各キャンパスの祭
慶應義塾では、三田祭だけでなく各キャンパスで塾生が企画・運営する学園祭が開催されています。SFCの七夕祭以外は、10～11月に開催。サークルや体育会による催し物、塾生の研究発表、音楽や演劇イベントなど、各キャンパスの独自性と塾生のエネルギーを感じる機会になっています。



パレードと三田山上での祝賀会は1500人ほどの塾生・塾員が参加する。警察など関係各機関との交渉も塾生が行う

◎六大学野球優勝パレード・祝賀会
体育会野球部が東京六大学野球で優勝した際は、塾生の自治組織「全塾協議会」に所属する複数の団体によって構成される「優勝準備委員会」主催で、明治神宮野球場から三田キャンパスまでの優勝パレードと祝賀会が開催されます。